

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	H26 効率的な堤防整備手法に関する検討業務
業 務 概 要	近年、気候変動に伴う激甚な水害が頻発し、計画高水位を超過する出水等への対応がより重要となっており、人口や資産が稠密な地域での効率的な堤防整備の推進は重要課題である。 本業務では、高規格堤防整備等において効率的な整備を推進するため、現場状況に応じた柔軟な整備に向けた技術マニュアル（案）及び事業スキームの検討を行う。また、民間活力を活用した整備手法等に関する検討を行う。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 越智 繁雄 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1 支出負担行為担当官 近畿地方整備局長 森 昌文 大阪府大阪市中央区大手前一丁目5番44号
契 約 年 月 日	平成26年9月2日
契 約 業 者 名	(株)建設技術研究所 東京本社
契 約 業 者 の 住 所	東京都中央区日本橋浜町3-21-1
契 約 金 額	¥29,970,000円（税込み）
予 定 価 格	¥29,970,000円（税込み）
随意契約によることとした理由	近年、気候変動に伴う激甚な水害が頻発し、計画高水位を超過する出水等への対応がより重要となっており、人口や資産が稠密な地域での効率的な堤防整備の推進は重要課題である。 本業務では、高規格堤防整備等において効率的な整備を推進するため、現場状況に応じた柔軟な整備に向けた技術マニュアル（案）及び事業スキームの検討を行う。また、民間活力を活用した整備手法等に関する検討を行う。 本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、経験、業務に臨む体制などを含めた技術提案を求め、公平性、透明性及び客観性が確保される簡易公募型プロポーザル方式に準じた方式により選定を行った。 株式会社建設技術研究所は、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	埼玉県さいたま市中央区
業 種 区 分	土木コンサルタント関係
履 行 期 間 （ 自 ）	平成26年9月3日
履 行 期 間 （ 至 ）	平成27年3月20日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

## 備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。